

様式1
(個人・グループ・学校用)

(候補者が作成し推薦機関に提出)

候補者の概要書 (個人・グループ・学校用)

1. 候補者の名称、連絡先等

①候補者名 *1 (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	フリガナ(半角カ) : -----	
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)		
③代表者役職・氏名	印	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所	(〒 - -)
	所属機関等の名称	
	部署・役職	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

連名による応募の場合、もう1者の名称・連絡先等を記入し各者押印してください。3者以上の連名の場合は、記入欄を適宜追加してください。

①候補者名 *1 (個人・グループ・学校の名称) *1 表彰状はこの欄に記入された名称により作成しますので、正確にご記入ください。名称は、なるべく30字以内にしてください。	フリガナ(半角カ) : -----	
②取組の実践場所 (都道府県及び市区町村まで記入)		
③代表者役職・氏名	印	
④連絡先 (連絡・問合せ等に対応できる担当者を記入してください。)	住所	(〒 - -)
	所属団体等の名称	
	部署・役職	
	氏名	
	電話番号	
	FAX番号	
	Eメール	

2. 3R 活動の実施内容（推薦対象の 3R 活動の内容について記入してください。）

※欄内の説明文（コメント）、記入例は削除し、ご記入ください。

<p>① 活動テーマ名</p>
<p>推薦対象の 3R 活動の内容を端的に表す活動テーマ名を 40 字以内で付けてください。</p>
<p>② 活動概要（表彰結果発表冊子に使用します。非公開の情報は「③活動の詳細内容」にご記入ください。）</p>
<p>活動内容を、写真、図表なども含めて、当枠内に記入してください（MS 明朝、9 ポイント）。 ※ 枠を抜けたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。</p> <p>次のような項目について内容を記述ください。</p> <p>(1) どのような 3R 活動か (2) 取組のポイント、特長 (3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところ (4) 今後の予定 など</p>
<p>注釈</p> <p>1. 写真、図表等を活用して、取組の特長などが伝わるようにご記入ください。</p> <p>2. 当欄の記入内容は、受賞取組をまとめた表彰結果発表冊子に使用いたします。非公開の情報など一般公開できない内容がある場合には、当欄ではなく次ページ「3. 活動の詳細内容（審査用）」にご記入ください。</p> <p>3. 過去の内閣総理大臣賞受賞者の活動概要（表彰結果発表冊子）を 29 ページに添付していますので、ご参照ください。 また、それ以外の受賞者の活動概要もリデュース・リユース・リサイクル推進協議会ホームページからダウンロードできますので、ご記入の際の参考にしてください。 (http://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki)</p>

※枠はこのまま使用して、抜けたり、次ページに繰り越したりしないようにお願いします。

以下の各項目は、全項目が審査対象（未記入の場合は、当該欄の評価点がゼロ）となりますので、必ず全項目（③～⑫）ご記入ください（6ページ「審査基準」ご参照）。

（③以降の記入欄の大きさが足りない場合は、枠を適宜拡げてご記入ください。）

③ 活動の詳細内容（審査用。非公開）

3R活動の具体的な実施内容について、写真・図表等を用いてご記入ください。

ご記入内容は次のような内容です。

- (1) どのような3R活動であるかの詳細
- (2) 取組のポイント、特長の詳細
- (3) 他の取組に比較して優れているところ、独自なところ、工夫したところの詳細
- (4) 今後の予定の詳細

など

④ 3R活動の区分

実施している活動の区分について、該当するものに○を付けてください（複数選択可）。リデュース・リユース・リサイクルのどれに該当するか判断が付きにくい場合は、26ページの「表彰の募集対象となる3Rの取組の例」を参考にしてください。

リデュース	リユース	リサイクル	啓発普及等

⑤ 活動開始時期・継続年数

3R活動を開始した年月及び継続年数を記入してください。

⑥ 対象品目・量等の実績

3R活動の対象品目、および過去3年間にリデュース、リユースまたはリサイクルした量の実績を記入してください（重量、体積、数量の単位は適宜変えてください）。なお、リサイクルの場合は、再生品の名称や用途（例：再生紙等）を記入してください。

<リデュース>

品目 年度	年度	年度	年度
	t m³	t m³	t m³
	t m³	t m³	t m³

（説明・ポイント・補足など記入してください。）

<リユース>

品目 年度	年度	年度	年度
	t m³	t m³	t m³
	t m³	t m³	t m³

（説明・ポイント・補足など記入してください。）

<リサイクル>

品目 年度	年度	年度	年度
	t m³	t m³	t m³
	t m³	t m³	t m³

（説明・ポイント・補足など記入してください。）

⑦ 活動の効果

3R活動の実施により得られた効果をできるだけ具体的に記入してください。

「⑥対象品目・量等の実績」の付帯効果、波及効果、書ききれない効果、また「⑥対象品目・量等の実績」に記入したもの以外の内容があれば、記入してください。

【廃棄物の削減効果】

【省資源・省エネルギー効果】

【環境保全効果】

【その他の効果】

⑧活動地域の範囲、他の3R活動主体や他地域との連携協力、地域密着性

3R活動の実施地域の範囲を記入してください。

他の3R活動主体や他地域との連携・協力について具体的に記入してください。

地域の特性や廃棄物問題を踏まえた3R活動である場合には、その内容を具体的に記入してください。

⑨活動の頻度

3R活動の実施頻度を記入してください。

(記入例) びんの回収：週1回、古紙の回収：毎日、フリーマーケット開催：月1回等

⑩独創性・先鞭性

他の取組に比較して優れているところ、進んでいるところ、独自なところを記入してください。

⑪啓発普及・教育活動の実施、波及効果

3Rに関する啓発・教育活動の実施内容と成果を具体的に記入してください。

他のグループ・学校等の3R活動に与えた波及効果を具体的に記入してください。

⑫その他活動の工夫点

上記以外に特に工夫・努力している点、アピールしたい点等を記入してください。

3. 過去の受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

今回推薦される内容が、下記(A)～(D)に該当する場合、以下の表にご記入ください。

- (A) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (B) 過去に、本表彰制度で今回推薦される内容とは違うテーマの活動で受賞
- (C) 過去5年間に、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で受賞
- (D) 本年度、他の表彰制度で今回推薦される内容と関連した活動で推薦されている又は応募中（予定も含む）

受賞歴及び応募状況 (上記(A)～(D)を記入)	表彰制度名 (上記(C)、(D)の場合、記入)	受賞年度 (上記(A)～(C)の場合、記入)	受賞した賞の種類 (上記(A)～(C)の場合、記入)	受賞時のグループ名・学校名が現在と異なる場合、当時の名称 (上記(A)～(C)で該当する場合、記入)

上記で(A)、(C)に○を付けた方は、前回受賞時から進展したポイント（例：活動内容の広がり、活動レベルの向上、3R実績量の増加、活動地域の拡大等）について、下記の例を参考に具体的にご記入ください。

記入例は削除して、ご記入ください。

過去（ 年度）受賞時の活動内容		今回推薦を受ける活動内容
3R活動の内容 (拡大発展したポイントが分かるように対比)	(記入例) ・資源ごみの集団回収活動 ・生ごみの堆肥化	(記入例) 左記の活動に加え、〇〇年から家具・日用品等の修理・不用品交換の事務局活動を開始、リサイクルのみならずリユースにも取り組むようになった。また、資源回収の対象品目も増え、活動の参加者やリサイクル量実績も格段に進展した。
3R対象品目について	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶 ・堆肥化： 生ごみ	(記入例) ・集団回収： 古紙、ガラスびん、アルミ缶、PETボトル ・堆肥化： 生ごみ ・不用品交換： 家具・衣類・日用品・図書等
3Rの実績量について	(記入例) ・古紙回収量： 500kg／年 ・ガラスびん回収量： 1,200本／年 ・アルミ缶回収量： 200kg／年 ・生ごみ処理量： 150kg／年 (堆肥生産量： 40kg／年)	(記入例) ・古紙回収量： 1,200kg／年 ・ガラスびん回収量： 2,500本／年 ・アルミ缶回収量： 800kg／年 ・生ごみ処理量： 500kg／年 (堆肥生産量： 200kg／年) ・不用品交換の成立実績： 120件／年
活動の実施地域について	(記入例) 〇〇町内で実施	(記入例) 〇〇町に加え、隣接する××町、△△町に活動範囲を拡大
活動の参加者数について	(記入例) 〇〇町内の25世帯が活動に参加	(記入例) 〇〇町50世帯、××町15世帯、△△町20世帯が活動に参加するようになった。
活動の質的な向上について	(記入例) 生ごみ堆肥は、グループメンバーが自宅の庭や家庭菜園で使用	(記入例) 左記に加え、地元農家に協力を求め、野菜栽培に生ごみ堆肥を使ってもらうようになった。
上記以外の進展事項、アピールしたいポイント	(記入例) 他の3R活動グループとの情報交流を通じて活動のレベルアップを図るために、平成〇〇年にホームページとインターネット掲示板を開設した（アドレス http://〇〇〇〇.jp ）。	